

線と光のドリミネーション

—「A表現(2)」—

～ 針金の特性を生かし、美しさやバランスを考えた形や装飾を工夫して、光るオブジェをつくる～

広島市立東野小学校 樋口 奈央子

1 日時・場所 平成24年11月22日(木) 10:10～10:55 6年3組教室

2 学年・組 第6学年3組(男子15名 女子19名 計34名)

3 題材について

○ 本学級の児童は、見ることやつくることを好む児童が多く、かくことを苦手とする児童が比較的に多い傾向にある。表現過程において、計画を立てながら見通しをもつて表現できるようになってきたが、表したいテーマやイメージが浮かばなかったり、どのように表現してよいのか迷ったりなど、発想・構想段階で時間がかかってしまう児童がいる。創造的な技能については、これまでの造形活動の経験を生かして、材料や用具、表現方法などを自分で選んだり、新しい用具を使ったりしながら、自分なりに表し方を工夫しようとする。しかし、材料や用具経験がやや浅く、その特徴を生かしながら、効果的に表現に取り入れることが難しい児童がいる。鑑賞については、自分なりの感じ方や見方を大切にしながら、多様な表現のよさを感じ取ることができるようになってきた。しかし、作品の表し方の変化や表現の意図、特徴などをとらえるまでには、至っていない。

○ 冬が近づくこの時期、街を彩る美しいイルミネーションがあちらこちらで見られるようになる。本題材は、針金とランプを組み合わせて光るオブジェをつくり、夢が広がるイルミネーションを自分たちの手でつくり出そうというものである。針金の曲げ方や組み合わせ方、つなぎ方などを試しながら、自分のイメージに合う形や装飾を見付け、さらにランプの光との組み合わせを楽しみながら作品をつくっていく。活動後には、一人一人の作品を集めて、美しい光の空間を演出する『東野ドリミネーション』に発展していく題材である。これらの造形活動を通して、形や色の美しさ、そこから生まれるイメージを表す楽しさだけでなく、自分たちの作品で魅力的な空間をつくりだす喜びも味わうことができるのではないかと考えた。また、針金を自分の思いに合わせて加工することを通して、針金やペンチの特徴を生かして使うといった創造的な技能も高めたい。

6年生は、総合的な学習の時間に「東野小魅力アップ大作戦」をテーマに活動を展開させている。12月に計画している「ドリミネーションで東野小魅力アップ」の活動と、造形活動を関連させることにより、表現意欲の高まりや発想の広がり、創造的な表現も期待できるのではないかと考える。

○ 指導に当たっては、題材を提案する際に総合的な学習の時間の活動と関連させ、目的意識や相手意識をもたせ、表現意欲を高めるようにする。発想・構想段階では、表したいイメージを具体化させるために、参考作品を見せて多様な表し方を紹介したり、思いついたアイデアを自由にメモできるワークシートを用意したりする。また、材料や用具を扱う時間を十分確保し、針金やペンチの特徴をつかめるようにする。児童一人一人がこれまでの経験を十分に生かしながら、児童が思い付いたことを進んで取り入れられるように、友だちの表現方法が自然に取り入れられるような学習環境も工夫したい。つくる過程において、針金と光の組み合わせ方のよさや美しさを感じたり、さらに発想を広げたりするために、段ボールでつくったブラックボックスを用意し、つくっては見る、見てはつくるといった活動が取り入れられるようにする。

4 題材の目標

○ 針金の特性を生かし、形の美しさやバランス、ランプの飾りの組み合わせ方を工夫して光るオブジェをつくる。

5 題材の評価規準

	ア造形への関心・意欲・態度	イ発想や構想の能力	ウ創造的な技能
題材の評価規準	針金とランプを使って光るオブジェをつくることに関心をもち、自分の思いをもって取り組もうとしている。	針金を曲げたり、組み立てたりしながら、自分のイメージに合う形やそれに合う装飾を考えている。	① ペンチを正しく使い、針金の曲げ方や接合の仕方を工夫している。 ② 表したいイメージに合わせて、針金の特徴を生かした加工や装飾などを工夫している。

6 指導と評価の計画（全4時間）

時間	学習活動	学習活動における具体的評価規準等		
		評価規準 評価方法	十分満足できると 判断される状況	努力を要する 状況への手立て
第一次 1時間	題材と出会う ・題材と出会い、活動の見通しをもつ。 ・どんなドリミネーションをつくるかイメージをふくらませる。	ア 発言 観察	・針金を使って光るオブジェをつくることに興味をもち、自分の思いを <u>広げながら進んで</u> 取り組もうとしている。	・目的意識や相手意識を持たせ、表現意欲を高める。
第二次 3時間 本時2/3	針金とランプでオブジェをつくる ・針金を曲げたりつなげたりして、いろいろな組みあわせ方を試す。 ・針金の特徴を生かした組み立て方をもとに、思い付いたオブジェをつくる。 ・つくりながら思いついたアイデアを生かして形を整えたり装飾を加えたりする。	ウー① 観察 イ ワークシート 対話 ウー② 作品 観察	・ペンチを正しく使い、 <u>用途に合わせて</u> 、針金の曲げ方や接合の仕方を工夫している。 ・ <u>様々な針金の加工を試しながら、自分のイメージに合う形や装飾を具体的に考え、表現の見通しを立てている。</u> ・ペンチの <u>使い方に慣れ</u> 、針金の特徴を生かし、表したいイメージに合わせて、 <u>様々な組み立て方や装飾を試みながら</u> 工夫している。	・材料や用具を試す時間を十分確保する。 ・多様な工夫を紹介する。 ・イメージを具体化させるため、アイデアメモを用意する。 ・友だちの表現方法や材料の使い方が自然に取り入れられるような学習環境も工夫する。

7 本時の目標

表したいイメージに合わせて、針金の特徴を生かした加工や装飾などを工夫する。

8 準備物

（指導者）ペンチ、ラジオペンチ、接着剤、光を遮断する囲い（ブラックボックス）など

（児童）光を通す材料（ビーズ、ビー玉、カラーセロハン、不織布など）、針金など

9 本時の展開

学習活動	○教師の支援 ★努力を要する児童への支援	評価規準 評価方法
1 本時の学習内容をつかむ。		
めあて 表したいイメージに合わせて、針金の組み立て方や飾り方などを工夫して、光るオブジェをつくろう。		
2 本時の活動計画を立てる。	○自分の活動目標を決め、見通しをもって取り組むことができるようにする。 ★つくる順序や使う材料、材料の使い方など、具体的な視点を与える。	
3 自分のイメージに合うように、光るオブジェを工夫してつくる。 【主な活動】 ・針金でイメージに合う形をつくる。（針金の加工） ・ランプとの組み合わせを確かめながら、材料を工夫して装飾をする。（材料の接着・接合）	○必要な材料を自分で選んだり、友だちの表現方法や材料の使い方が自然に取り入れたりできるような学習環境を設定する。 ★ブラックボックスを用意し、作品の光り方を試すことができるようにする。 ★アイデアメモや学習計画表をもとに、児童の思いを引き出し、具体的な活動につながるような提案や助言を行う。	ウー② 作品 観察
4 学習のふりかえりをする。	○本時の活動のふりかえりと次時の活動の見通しがもつことができるようにする。	